

4 雇用の動き

平成12年の調査産業計の推計常用労働者数は規模5人以上では410,163人、前年比0.8%減（規模30人以上では、220,194人、前年比1.1%減）となった。

産業別にみると、建設業（5.4%増）が唯一増加した産業で、残りの産業は全て減少し、金融・保険業（3.4減）、運輸・通信業（2.7%減）、卸売・小売、飲食店（2.2%減）等となった。（表4、図5）

また、労働異動率（入職率、離職率）は平成12年の月平均では入職率1.61、離職率1.61で異動率は同率であった。

表4 産業別推計常用労働者数及び雇用指数（規模5人以上）

産業分類	推計常用労働者数		雇用指数 (平成7年=100)			雇用指数 (平成7年=100)		
	平成11年平均	平成12年平均	平成11年平均	平成12年平均	対前年増減率	平成11年12月	平成12年12月	対前年増減率
調査産業計	413,352 ^人	410,163 ^人	104.0	103.2	0.8%	103.5	103.2	0.3
調査産業計（サービス業除く）	285,122	282,047	101.7	100.6	1.1	100.5	100.1	0.4
建設業	37,876	39,944	96.1	101.3	5.4	95.8	105.6	10.2
製造業	101,016	99,515	93.3	91.9	1.5	92.1	90.3	2.0
電気・ガス・熱供給・水道業	2,839	2,797	115.9	114.2	1.5	115.3	112.0	2.9
運輸・通信業	30,679	29,826	102.2	99.4	2.7	101.4	97.6	3.7
卸売・小売業，飲食店	94,406	92,352	114.6	112.1	2.2	113.0	111.4	1.4
金融・保険業	16,555	15,980	102.4	98.9	3.4	101.4	97.7	3.6
サービス業	128,231	128,117	109.7	109.6	0.1	110.8	110.6	0.2

(注) 調査産業計には鉱業、不動産業を含む。

図5 雇用指数（調査産業計）
（規模30人以上）

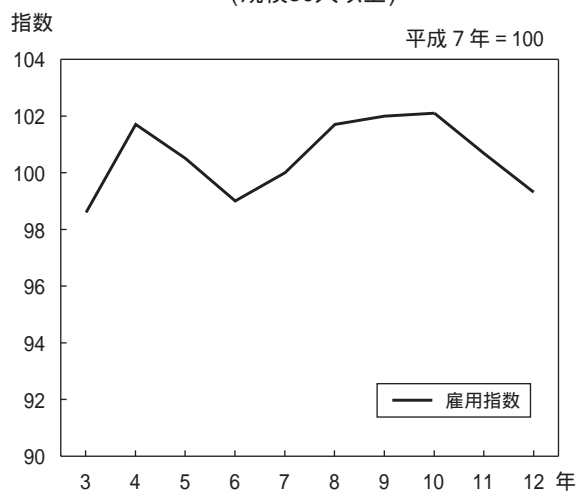


図6 入職率、離職率の推移（調査産業計）
（規模5人以上）

